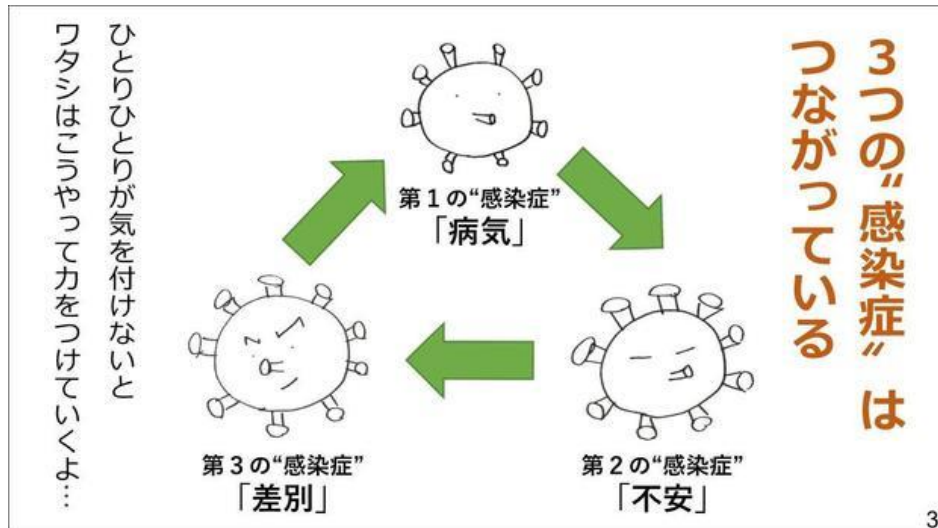


3つの感染症に負けないで！

(岸和田市立春木中学校長)



〔日本赤十字社ホームページより〕

いま、日本で起こっている3つの感染症、それが、**病気、不安、差別**です。

病気が「不安」をよび、不安が「差別」を生みます。そして、差別されるのが嫌で、体調が悪くても言いだせずに「病気」が広がります。

このように、病気、不安、差別の3つは、つながって感染します。

新型コロナウイルスは、感染力がとても強いウイルスです。感染するリスクは誰にだってあります。身近で、感染の情報が入ったとしても、

「だれかを責めたり、疑ったり、うわさしたり、してほしくはありません。」

たとえば、ある地域の調査では、次のような差別が起きたそうです。

- ・ 発熱をした生徒に対して、他の生徒が本人に「コロナか？」と発言した。
- ・ 生徒同士の SNS 等のメッセージで感染者を特定しようとする動き（犯人探

しのようなもの)があった。(保護者から、「子供たちが感染者を特定しようとするメッセージを回している」との連絡が学校に入って発覚。自分も濃厚接触者になるのかと、心配が背景にあったことが判明。)

- ・ 「濃厚接触者が家族に出た場合、出勤を控えるようにと会社から連絡があり強制的に休ませられた。給料が減る。どうしてくれるのか。」と苦情があった。
- ・ 父親に陽性反応が出たため濃厚接触者として登校していない児童に対して、別の家庭の保護者が「感染が心配だから、1学期いっぱい休ませろ」と要求してきた。
- ・ 児童の保護者が食中毒による発熱のため入院した。その際、「コロナで入院しているらしい」という噂がながれた。
- ・ 医療関係に従事する保護者の子供が、「一緒に帰りたくない」と言われた。
- ・ 友達との距離感がうまくつかめず、身体距離が近くなってしまう子が、クラスメートから「コロナ、距離をとれ」と言われた。

もし、自分が感染者だったらどう感じるでしょうか。何気ない言葉の一つひとつが、胸に突き刺さるのではないのでしょうか。

言葉に気をつけること、とくにSNSでのやり取りに気をつけること、思いやりをもつこと、そっと見守ること、うわさを広げないこと、大事に想うことなど、お願いしたいことはいっぱいあります。

感染者、濃厚接触者は、とても不安です。苦しい思いをいっぱいしています。相手の立場になって、行動してほしいと思いますし、私たちならできると信じています。